

<p>一般社団法人 日本看護研究学会北海道地方会</p> <p>地方会ニュース 第 38 号</p>	<p>一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会事務局 〒061-0293 石狩郡当別町金沢 1757 北海道医療大学 看護福祉学部内</p> <p>編集責任 船橋 久美子 E-mail : h-chihoukai@ml.hoku-iryo-u.ac.jp</p> <p>2023 年 6 月 15 日 発行</p>
--	---

会員の皆様へ

北海道地方会会長 山田 律子

2020 年の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックから 3 年が経過し、本年 5 月 8 日から 5 類感染症になりました。COVID-19 は人々の暮らしや医療に大きな影響をもたらしましたが、オンラインによる学会や講演会などの産物もありました。しかし、インターネットの進展・普及による容易な情報発信・収集の反面、COVID-19 をめぐっての真偽不明な情報の発信により、WHO はパンデミック宣言前の 2020 年 2 月に、インフォデミック(infodemic)の危険性を警告しました<sup>1)</sup>。インフォデミックとは、information(情報)と epidemic(伝染病)を組み合わせた造語であり、信頼できる情報とそうではない情報が入り混じり、不安や恐怖と共に急激に拡散され、社会に混乱をもたらす状況を意味しています。それゆえに、根拠に基づく正しい情報をもとに看護を提供していくことが重要であると考えます。今日、改めて学会の意義を感じると同時に、会員一丸となつての学会活動の推進が切望されるところです。

さて、北海道地方会では、昨年 8 月 6 日に、天使大学・小澤芳子学術集会長のもと、「子どもたちの健康といのちをつなぐ看護」をテーマに、ハイブリッド形式で第 30 回学術集會が開催されました。会場で集うことの良さを実感した学術集會でもありました。運営にご尽力くださいました小澤学術集会長と関係の皆様に対して、心より御礼を申し上げる次第です。

今年度は 8 月 5 日に、日本医療大学・山崎公美子学術集会長のもと、「超高齢・多死時代における看護学教育と看護実践」をテーマに、第 31 回学術集會が開催されます。大講堂で、対面形式による開催が予定されていますので、多くの皆様にご参加いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

北海道地方会では独自の取り組みとして、会員による学会誌掲載論文や学術集會発表の中から、看護実践への貢献度が高い研究に「研究奨励賞」を授与しています。今後も皆様の積極的な投稿・発表をお待ちしております。また、2 月には特別講演会を開催する予定です。昨年度は、聖路加国際大学大学院・亀井智子教授による「はじめての混合研究法～看護事象の質と量の統合から見えるもの～」と題した特別講演会をオンラインで開催し、多くの皆様にご参加いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。本地方会の活動は、適宜ホームページでお伝えしていきますので、ご覧いただければ幸甚です。

本地方会の目的は、北海道地区における看護の研究と教育ならびに実践の進歩・発展に寄与することです。実践の場で日々活躍されている看護職者と教育・研究者との連携がますます必要とされてきています。特に本学会は多様な専門領域の会員で構成されていますので、専門領域を越えてつながることの利点も活かしていただければと思います。学会活動のさらなる活性化には、会員の皆様からのご意見を反映させていくことが重要であると考えます。特別講演会のテーマなど、ご希望などがありましたら、どうぞ事務局までお寄せください。

末筆になりましたが、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

1) World Health Organization (2020). Novel Coronavirus (2019-nCoV) Situation Report 13”  
<https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200202-sitrep-13-ncov-v3.pdf>



---

---

## 令和5年度 一般社団法人 日本看護研究学会北海道地方会総会のご案内

---

---

今年度は、昨年度と同様に Web での総会を開催させていただきます。

以下の手順により、総会をすすめさせていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### <総会の進め方>

- ① パスワードをかけた総会資料をアップロードします。事前に皆様にメールでご案内いたしますので、地方会のホームページ <https://www.jsnr.or.jp/district/hokkaido/> にアクセスし、確認してください。ご案内の時期は、7月中旬を予定しております。
- ② 総会資料のパスワードは、後日メールでお知らせします。
- ③ ご意見等がある場合には、後日メールでお知らせする期日までに、地方会事務局のメールアドレス ([h-chihoukai@ml.hoku-iryo-u.ac.jp](mailto:h-chihoukai@ml.hoku-iryo-u.ac.jp)) へお送りくださいますようお願い申し上げます。この期間にご意見等がなければ、ご賛同いただけたものとして今年度の地方会を運営して参ります。

---

---

## 一般社団法人 日本看護研究学会 第31回北海道地方会学術集会のご案内

---

---

### 第31回北海道地方会学術集会 開催のご挨拶

テーマ：超高齢・多死時代における看護学教育と看護実践

第31回 北海道地方会学術集会長 山崎 公美子

わが国では、人生100年時代が到来し、団塊の世代（昭和22～24年に出生）の人々が後期高齢者（75歳）となる2025年を見据えた社会保障制度改革が進められております。また、2040年には、高齢者人口が4,000万人とピークに達し、総人口の3分の1を超えると推計されています。高齢者ご本人の意思・意向を大切に、最後まで住み慣れた地域でその人らしく暮らしていけるよう、いかに支えていくかは日本社会が抱える課題です。このような現状を鑑みますと、地域包括ケアシステムにおける医療と福祉の連携や、看護職への役割期待はますます増大し、その専門性も求められていくことは必至です。そこで、私たち看護職者は来るべき将来に向けて、看護教育や看護実践の現場で高齢者の多様な生活や価値を支えるために、何を成し得るのでしょうか。

本学術集会では、今日の超高齢社会を見据えた老年看護学の教育、研究、また看護実践現場において多大な貢献をされてきました小野幸子教授より教育講演をいただき、超高齢・多死時代における看護学教育や看護実践のあり方について、皆様方と共に考えていきたいと思っております。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【期 日】 令和5年8月5日(土) 13:30~16:30

【参加費】 会員 1,000円(事前)/1,500円(当日)、非会員 1,500円(事前)/2,000円(当日)、  
学生 無料(大学院生は含まない)

【会 場】 日本医療大学 大講堂 (札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号) ※対面開催

【プログラム】 <教育講演> 13:40~14:40

テーマ: 超高齢・多死時代における老年看護学と看護実践の現状と課題

座 長: 山崎 公美子

演 者: 小野 幸子 (日本医療大学保健医療学部・学部長)

<一般演題(口演)> 14:50~16:20

### 【参加申し込み方法】

参加申し込みフォームでお申し込み後、指定口座にお振込みください

<参加登録フォーム>

右のQRコードからお申し込みできます。

<参加登録フォーム必要事項>

氏名、メールアドレス、所属、住所、

会員(会員番号)/非会員/学生(大学院生を除く)の別



参加申し込み  
QRコード

<事前申し込み>

事前申し込み期間: 令和5年4月14日(金)~同年7月21日(金)

<お問い合わせ先>

日本看護研究学会 第31回北海道地方会学術集会事務局

E-mail: jsnr-h2023@jhu.ac.jp

<事前参加費振り込み方法>

申し込みフォームよりお申し込み後、以下1)~3)をご確認いただき、お振込みをお願い致します。

1) 7月26日(水)までに事前参加費を下記の口座にお振込みください。

事前参加費: 会員1,000円、非会員1,500円、学生無料(大学院生は除く)

銀行名	北海道銀行	支店	鳥居前支店(支店番号: 153)
預金種目	普通口座	口座番号	1103891
口座名義	第31回日本看護研究学会北海道地方会学術集会		

\* お振込みにかかる手数料は各自でご負担くださいますようお願い致します。

2) お振込みされる際の依頼人名は、必ず参加申し込みフォームに記載したお名前(申し込みされたご本人名)をご記入ください。

3) お振込みの際は、お名前の前に必ず会員番号を入れて下さい。

(例) 0123●● ●● (お名前)



## 2022 年度日本看護研究学会北海道地方会 特別講演会のご報告

令和 5 年 2 月 23 日(祝日・木)に、特別講演会「はじめての混合研究法 ～ 看護事象の質と量の統合から見えるもの～」と題して、講師に亀井智子氏（聖路加国際大学大学院看護学研究科・教授）をお招きして、座長は長谷川真澄氏（札幌医科大学）に担っていただき、オンラインで開催しました。会員・学生 42 名、非会員 33 名の計 75 名の参加でした。講演会は、混合研究法についての書籍や国際状況などの紹介、「何をみて物事を決めているか」という日常的な質問から質的データと量的データを見せるジョイントディスプレイによる表現方法、量的研究・質的研究における単一メソッドのメリットと限界、混合研究方の研究デザインについてお話しいただきました。参加者からは、「MMR のウォームアップの提供があり、より具体的に理解することができた」「リサーチクエスチョンを立てる際に、含めるべき項目の提示があり、わかりやすかった」などのアンケート結果があり、大変有意義な講演会でした。



### 北海道地方会研究奨励賞受賞者のお知らせ

2022 年度は論文 1 件、研究発表 2 件の受賞がありました。

#### 【論文】

- 大内潤子, 林 裕子, 松原三智子他 (2021): 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策が地域在住高齢者の活動および主観的な健康に与えた影響: 北海道の感染第 1 波における検討, 日本看護研究学会雑誌, 44 (4), 599-609.

#### 【研究発表】

- 鳥塚あゆみ, 澄川真珠子, 城丸瑞恵 (2021): 造血幹細胞移植後長期フォローアップ外来に携わる看護師が感染予防指導を行う上での属性別困難の特徴, 日本看護研究学会雑誌, 43 (3), 407.
- 辻 幸美, 木口幸子, 佐々木律子他 (2022): 学生の臨床判断能力の向上をめざしたバーチャルリアリティ教材の開発, 第 30 回北海道地方会学術集会抄録集, 17.

なお、研究奨励賞表彰式は、令和 5 年 8 月 5 日に開催される第 31 回北海道地方会学術集会の開始前に行います。